

高度人材調査

2021年3月 日本貿易振興機構（ジェトロ）ニューデリー事務所 作成

項目	インド	根拠資料
1. 基礎データ		
高等教育機関数（大学・大学院・その他）	大学：12,822校 大学院：4,475校 （2019-2020年度）	http://aishe.nic.in/aishe/universityDirectoryIndex?hasReportLink=index
高等教育の卒業生数（学部生、院生）	学部生：7,353,360人 院生：1,738,538人 （2018-2019年度）	http://aishe.nic.in/aishe/reports
高等教育概要（入学、学生生活、卒業）	中等教育の12年間の教育を修了した者（概ね18歳以上の者）を対象にした教育である。医師や法律家など一部の専門職養成コースを除く制度の基本的骨格は3年制の学士課程（undergraduate course）とそれに引き続く大学院課程（postgraduate course）から構成されている。多くの大学ではキャンパス内に寮があり、安価で提供される。大学では多くの課題が毎日だされ、学生は常に勉学と向き合う体制が作られる。日本の学生のようにバイト等をしている学生は少ない。	https://core.ac.uk/download/pdf/288467734.pdf
学生が就職する一般的な方法、一般的なプラットフォーム（就職情報サイト名など）	新卒の採用は企業が大学訪問し、候補者と面接を行うオンキャンパスリクルーティングが主流である。多くの場合は大学側が生徒と企業のマッチングを管理する。プロセスとしては説明会、試験、グループディスカッション、面接、内定という流れ。学生は、成績順に管理され、大手優良企業との面接の機会を得ることができる。早い場合は一日で内定、意思決定が必要になる。一般的なプラットフォームは、Naukri.com, monster.com, iimjobs, shine.com, linkedin.com, indeed.comもしくは人材紹介会社等。	1. Naukri https://www.naukri.com/ 2. Monster India https://www.monsterindia.com/

高度人材調査

項目	インド	根拠資料
卒業後の一般的なキャリア形成	<p>大学卒業後、企業へ就職をするのが一般的。企業にて数年実務経験を経て、20代のうちに修士号等インドでより高等教育を受けるか、最近では海外留学組も増えてきている。修士ではMBAが最も人気があり、理系卒業者が技術力と経営管理スキルの両方を志向することもある。インド人の就業観としては、日本のように一社に勤めあげるのではなく、所属会社を数年ごとに頻繁に変え、自分自身の価値（多くの場合は給料の上昇）を上げることが最重要として考える傾向がある。</p>	
キャリアへの一般的な考え方（海外勤務や外国企業への勤務意欲、仕事で大事にしていることなど）	<p>最近の傾向として、多くの学生が海外での就業、または外資系企業での就業に関心が高くなっている。理由としては、仕事の質及び内容、ワークライフバランス、社会保障と福利厚生、キャリアアップ、魅力的な給与などが挙げられる。</p>	
学卒者／院卒者の給与の考え方や相場	<p>学卒者：平均年収 INR 587,187 院卒者：平均年収 INR 648,470 インド人は、就職・転職においては給料・福利厚生が一番重要だと考える人が圧倒的に多い。転職時には、通常20-30%の給与の上昇を希望する。</p>	<p>1. https://www.payscale.com/research/IN/Degree=Bachelor%27s_Degree/Salary 2. https://www.payscale.com/research/IN/Degree=Master%27s_Degree/Salary</p>
学生との主要交流イベント（日本企業も参加できるイベント）	<ul style="list-style-type: none"> ・経済産業省主催 Government of Japan-JAPAN JOB FAIR（2020年12月12日、13日） 海外での採用活動やコネクション形成の機会を提供。 ・JETRO主催 インド工科大学ハイデラバード校における企業説明会「JAPAN DAY」（2020年10月2日、3日） JICA及びインド工科大学ハイデラバード校（IIT-H）と共催。 	<p>1. https://japanjobfair.go.jp/ 2. https://www.jetro.go.jp/news/releases/2020/3416db9471cdc3ad.html</p>
2. 日本語人材		
外国への留学生数、うち日本への留学生数	<p>海外で高等教育プログラムを受けているインド人学生数は約109万人と推定されている。 (※2019年7月時点) インド人留学生の日本留学数：1,236人 (※2017年時点)</p>	<p>1. https://www.mea.gov.in/Students-Registration-Portal.htm 2. https://www.utokyo.ac.jp/adm/utindia/en/whyjapan.html</p>

高度人材調査

項目	インド	根拠資料
日本語専攻の卒業生数	[参考情報]インド人の日本語学習者（高等教育レベル）：7,553人 (※2018年時点)	https://www.jpff.go.jp/j/project/japanese/survey/result/dl/survey2018/Report_all_e.pdf?fbclid=IwAR3S2dJXl8P_nFr2bZ-zPiQHR05b8At4hr3LaEUN_H5IxLIg1pQZ3IXCaFo
日本語を専攻する学生の人気の就職先／一般的な就職先	日本語専攻の学生は、インドの日系企業への就職を希望する。業界は、日系法人が多い自動車/自動車部品関連、貿易、製造業、サービス業など。職種としては、通訳や営業、事務一般職が多い。インドではJLPT N3レベルから通訳をすることも可能。	
キャリアへの一般的な考え方（海外勤務や外国企業への勤務意欲、仕事で大事にしていることなど）	日系企業のインド法人で、日本語を実務で活用しながら、自分のJLPT（日本語検定）レベルを上げていくことが一般的。多くの場合は通訳ポジションで、JLPTレベルにより、給与条件が大きく変化する。企業により、日本への派遣制度を有している場合もあり、日本派遣の資格を得ることがモチベーションとなっている。	
日本語を専攻する学生へ日本企業がコンタクトする方法（イベント、大学就職課へのコンタクト、など）	一般的に日系企業は、日本語話者の候補者の獲得のために、オンキャンパスリクルーティングやジョブフェア経由で求人を出す。 また、日系人材紹介会社へ問合せをしたり、Mosaiのような日本語教育センターへ問合せを行う。	https://mosai.org.in/
日本語専攻を有する主要高等教育機関3校程度とそれぞれの特徴、ウェブサイト（英語）	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャワハーラル・ネルー大学 インドの首都ニューデリーの南部に位置する国立総合大学。インド最高の高等教育機関に認定。 ・デリー大学 国内外問わず有力者を多数輩出している名門国立大学。イギリスの大学と似たカレッジ制で有名。 ・サビットリバイ・フル・ブネー大学 マハラシュトラ州にあるインド西部の名門州立大学。 	<ul style="list-style-type: none"> 1. Jawahar Lal Nehru University: https://www.jnu.ac.in/main/ 2. University of Delhi: http://www.du.ac.in/ 3. Savitribai Phule Pune University : http://www.unipune.ac.in/

高度人材調査

項目	インド	根拠資料
3. IT・デジタル関連人材		
(1) 大学生・大学院生の新卒者の採用		
IT・デジタル専攻の卒業生数	コンピュータ学科：156,570人 IT学科：37,204人 計：193,774人 (※2019年時点)	http://aishe.nic.in/aishe/viewDocument.action?documentId=263
ITを専攻する学生の人気の就職先／一般的な就職先	人気の就職先としては、外資系マイクロソフト、アマゾン、デロイト、CGI、グーグル、そしてインド系大手であるインフォシス、コグニザント、マインドツリー、HCL、TCS、テックマヒンドラなど。一般的な就職先としては、インド人は地元志向が強いため、自分のホームタウンにある中小・中堅のIT会社等。	https://www.newshour.press/it-companies-in-india-history-challenges-future/
キャリアへの考え方（海外勤務や外国企業への勤務意欲、仕事で大事にしていることなど）	多くのインド進出多国籍企業が、IT学部卒業生を歓迎している。それを認識している多くの学生は、給与水準が高いことから、インド国内多国籍企業、また米国、欧州、カナダ、シンガポールなどの英語圏で働きたいと考える。	
外国語力（日本語、英語）	日本語とITの両方のスキルを持っている人は非常に少ない。 一方で、学生の多くは、英語が準ネイティブレベルでコミュニケーションが可能。	
第三国（当該国&日本以外）での就職状況	約95万人のインド人エンジニアが、米国で就業していると言われている。 (※2013年時点) 米国は給与水準が高く、より良い生活の質や福利厚生を得る事が出来るため人気が高い。	https://www.thehindu.com/news/national/Indian-engineers-scientists-in-U.S.-nearing-one-million/article14000053.ece

高度人材調査

項目	インド	根拠資料
日本企業や日本での勤務の考え方（あれば）	日本は技術大国というイメージがあるが、日本で働くためには、ネイティブスピーカーやJLPT N1～N2レベルの流暢さで、日本の環境に適応可能な日本語能力が必須となる。そのため、日本でIT系の仕事に就ける人は大変少ないというイメージがある。	
IT関連専攻を有する主要高等教育機関3校程度とそれぞれの特徴、ウェブサイト（英語）	<ul style="list-style-type: none"> ・IIT デリー：Indian Institute of Technology, Delhi (IIT Delhi)は、NIRF Rankings 2020で工学部門で2位、総合部門で3位に位置する。入学資格は、JEE、GATE、JAMなどの国家レベルの入学試験によって与えられる。 ・IITボンベイ インド工科大学（IIT）ボンベイ校は、NIRFランキング2019の工学部門で3位に位置する。 ・IITハイデラバード インド工科大学（IIT）。日本政府の円借款による効力により設立。日本人の常勤の教授もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1. IIT Delhi: https://home.iitd.ac.in/ 2. IIT Bombay: http://www.iitb.ac.in/ 3. IIT Hyderabad: https://iiith.ac.in/
IT・デジタルを専攻する学生へ日本企業がコンタクトする方法（イベントなど）	オンキャンパスリクルートメントや、ジョブフェアやコンサルティング会社を通じてのコンタクト方法が、挙げられる。採用希望の大学がある場合は、専門の人材エージェントに窓口業務を依頼し、彼らに大学側との折衝を任せ、自社は採用業務にのみ集中する。	
(2) 実務経験者（大卒者）の採用		
IT・デジタル分野での就労者数	インドのIT・BPM業界の直接・間接雇用者数は1,500万人を超えている。 （※2017年時点）	https://www.statista.com/statistics/320729/india-it-industry-direct-indirect-employment/
実務経験者（転職者）の就職方法	主な方法は、企業ホームページのキャリア欄への直接応募、複数のジョブポータル経由の応募。また人材紹介会社・ヘッドハンティング会社の活用。	<ul style="list-style-type: none"> 1. Naukri https://www.naukri.com/ 2. Monster India https://www.monsterindia.com/
外国語力（日本語、英語）	多くのエンジニアは準ネイティブレベルで英語を使い、英語でプロジェクト管理が可能。日本語でプロジェクトを管理するにはビジネスレベルが必要なため、日本語でのプロジェクト管理可能な人はほほいない。	

高度人材調査

項目	インド	根拠資料
IT・デジタル分野の実務経験者へ日本企業がコンタクトする方法（イベントなど）	通常、日系企業はエンジニア・専門家を採用するために人材紹介コンサルティング会社経由にてアプローチする。 また、ジョブフェアやNaukri.comやmonster.comなどジョブポータルや、LinkedInなどのソーシャルメディアで候補者獲得を試みる。	1.Naukri https://www.naukri.com/ 2.Monster India https://www.monsterindia.com/
4. 機械工学・電気関連人材		
(1) 大学生・大学院生の新卒者の採用		
機械工学・電気関連専攻の卒業生数	・機械工学：191,940人 ・電気工学：89,745人 (※2019年時点)	http://aishe.nic.in/aishe/viewDocument.action?documentId=263
機械工学・電気関連系を専攻する学生の人気の就職先／一般的な就職先	人気企業：外資系/地場大手自動車メーカーや、その関連部品会社。 日系企業を含む外資系企業が進出しており、インドの間では人気が高い。例えばインド自動車売上シェア50%超のMaruti Suzukiは就職先として高い人気を誇る。 一般企業：ほとんどが現地の製造業に就職する傾向。	
キャリアへの考え方（海外勤務や外国企業への勤務意欲、仕事で大事にしていることなど）	自動車産業におけるインド進出の日系企業・多国籍系企業の存在は大きく、工学系専攻とも相性が良いので、多くの学生が卒業後、当該企業を目指す。将来の海外出張や海外赴任をモチベーションとしている。	
外国語力（日本語、英語）	機械や電気などの専攻分野で日本語スキルと知識の双方を持ち合わせている人は非常に少ない。英語がビジネスレベルで流暢な人は多い。	
第三国（当該国&日本以外）での就職状況	多くの工学系エンジニアが海外での仕事を希望している。経験が少ない人の場合、UAE（アラブ首長国連邦）へ転居したり、管理職レベルの場合は米国・ヨーロッパなどで現場で働く人もいる。	

高度人材調査

項目	インド	根拠資料
日本企業や日本での勤務の考え方（あれば）	日本は技術立国というイメージがあるように、日系企業は就職先としても人気の高い国の一つ。しかし、イメージの現実との乖離があり、日本での就職をイメージしている生徒はほとんどいない。	
機械工学・電気を専攻する学生へ日本企業がコンタクトする方法（イベントなど）	オンキャンパスリクルートメントや、ジョブフェアやコンサルティング会社を通じて等が、挙げられる。採用希望の大学がある場合は、人材エージェントに窓口業務を依頼し、彼らに大学側との折衝を任せ、自社は採用業務にのみ集中する。	
機械工学・電気関連系専攻を有する有力な高等教育機関3校程度とそれぞれの特徴、ウェブサイト（英語）、連絡先	<ul style="list-style-type: none"> ・ インド科学大学（IIS）, Bangalore インドの国立の高等教育機関のひとつであり、バンガロールに設置されている ・ Jawaharlal Nehru Centre for Advanced Scientific Research インドでも有数の研究所の1つ。 ・ バナラス・ヒンドゥー大学 毎年7000人以上の学生が在籍 	<ul style="list-style-type: none"> 1. Indian Institute of Science, Bangalore: https://www.iisc.ac.in/ 2. Jawaharlal Nehru Centre for Advanced Scientific Research: http://www.jncasr.ac.in/ 3. Banaras Hindu University: https://www.bhu.ac.in/
(2) 実務経験者（大卒者）の採用		
機械工学・電気関連分野での就労者数	[参考情報]1,000万人前後と推察される。 （前述の通り、インドのIT業界の直接・間接雇用者数は1,500万人を超えている状況から。） （※2017年時点）	
実務経験者（転職者）の就職方法	主な方法は、企業ホームページのキャリア欄への直接応募、複数のジョブポータル経由の応募。また人材紹介会社・ヘッドハンティング会社の活用。	<ul style="list-style-type: none"> 1.Naukri https://www.naukri.com/ 2.Monster India https://www.monsterindia.com/

高度人材調査

項目	インド	根拠資料
外国語力（日本語、英語）	多くのエンジニアは準ネイティブレベルで英語を使い、英語でプロジェクト管理が可能。日本語でプロジェクトを管理するにはビジネスレベルが必要なため、日本語でのプロジェクト管理可能な人はほぼいない。	
機械工学・電気を専攻する実務経験者へ日本企業がコンタクトする方法（イベントなど）	通常、日系企業はエンジニア・専門家を採用するために人材紹介コンサルティング会社経由にてアプローチする。 また、ジョブフェアやNaukri.comやmoster.comなどジョブポータルや、LinkedInなどのソーシャルメディアで候補者獲得を試みる。	1.Naukri https://www.naukri.com/ 2.Monster India https://www.monsterindia.com/
5. その他		
当該国政府の高度人材育成方針	インド政府の人材開発省は、「4E growth mantra※」（教育する、活気づける、雇用する、力づける）を推奨。依存人口の減少、貯蓄の増加、人的資源への投資、生産性の向上、成長率の向上に伴う「好循環」に焦点を当てる必要性を強調している。※サンスクリットで、「文字」「言葉」の意。educate, energize, employ and empower	https://economictimes.indiatimes.com/news/politics-and-nation/ministry-of-human-resource-development-draws-up-plans-to-make-2020s-indias-decade-as-workforce-peaks/articleshow/71160203.cms?from=mdr
新型コロナウイルスの影響（短期的な変化に加え、構造的な変化等も見られる場合はそれも記載）	多くの企業はパンデミックの影響が落ち着くまで、一時的に雇用を停止している。しかし、自動車の生産・販売台数も徐々に回復してきていることにより、他製造業への採用意欲向上の波及効果が期待される。インドが中長期では成長市場ということは何も変わらない中で、企業は短期的な業績悪化リスクをどう回避するかに腐心している。	